

ルーラー転してレヴィを擁護に

経済安定優先し財政調整支持

ジウマとの緊張関係ほぐす

18年大統領選やはり出馬?

29日のPT党大会でのルーラ氏
(Lula Marques/Agencia PT)

ルーラ前大統領はこれまで、レヴィ財務相に対する批判的見方を続けていた。それは社会政策費の支出まで切り詰める戦略が、PTの方針とは相容れないなど見ていたためだ。ルーラ氏は今月15日にジウマ大統領に会った際、レヴィ財務相は「有効期限が近い」とまで語っていた。だが、この日、ルーラ氏は態度を変えた。党執行部は、この行部の会合で、「ジウマ大統領が財政調整の必要性を認め、それに取組むと大統領選挙のときにやらないと約束したことを実際にはやらなければならぬ」と語った。

ルーラ氏の見解は、野党側が糾弾してきた「ジウマ大統領は選挙公約を守っていない」という指摘に応じたものだと見られた。ジウマ氏も既に経済問題での失政を認める発言をしていたが、ルーラ氏もそれに続いたといえそうだ。

また、この発言の背景には、15年の年頭から取組んでいる財政調整が進まないために、経済状況が安定しないことへの

懸念もある。同氏は今回でも半年も議論し続けている姿など見えたが、それでも半ばも議論し続けている。国民党はジウマが国を治めているという説見があったが、それが現実となってしまった。誰も、財政調整案についても、半年も議論し続ける姿など見えたが、それはジウマ大統領との緊密な連絡から連休も雨が降るほど少なめだ。今月は高気圧による長期のプロトキング現象もあったため苦戦はしたが、一応、雨季

10月のカントレイラ水系の30日平均9時現在の降水量は116・5ミリで、月間平均降水量の128ミリより1割ほど少ない。毎月は高気圧による長期のプロトキング現象もあったため苦戦はしたが、一応、雨季

10月のカントレイラ水系の30日平均9時現在の降水量は116・5ミリで、月間平均降水量の128ミリより1割ほど少ない。毎月は高気

圧による長期のプロトキ

ング現象もあったため苦

戦はしたが、一応、雨季

10月のカントレイラ水系の30日平均9時現在の降水量は116・5ミリで、月間平均降水量の128ミリより1割ほど少ない。毎月は高気

圧による長期のプロトキ

ング現象もあったため苦



ほしはじめ
星
- The Japanese book
教育出版 - The Japanese book
「快絶仕遊 天狗俱樂部」

メール
マガジン

こくさいはにほんじん 国際派日本人養成講座 よせいこうざ 星一の米国立志編(上)

2010年5月9日版

星一はアメリカに留学して
「最も優秀な日本人」になろうと志した。

1. 「最も優秀な日本人に
なつて帰つてこようと思つて
いる。」

多くの人はアメリカに行くと、アメリカ人のよ
うになつて帰つくるが、ぼくはそうならないいつも
りだよ。むこうの知識のすぐれたものを吸収し、最
も優秀な日本人になつて帰つてこようと思つてい
る。」[1, p.90]

サンフランシスコに着くと、星は知人から紹介さ
れていた中野という男を訪ねた。中野は陶器など
日本の雑貨を売る店で成功していた。中野は「よく
来た」と星を歓迎しながら、「商品を仕入れる資金
を貸さないか。利息は払う」と言うので、星は言わ
れるがままに所持金を渡した。

ところが、10日ほど後に再訪すると、中野は
「借金で行き詰まり、店じまいしなければならなく
なつた」と言い、「返済はしばらく待つてくれ」と
頭を下げた。わずか2週間で、所持金がすべてなく
なつてしまつたのである。

途方に暮れて、日本人宣教師が運営している安価
な宿泊所のベッドで『西國立志編』を読んでいたら
こんな文句が出てきた。

わたしは子ですから、もちろん母を尊敬しております。
星は胸にこみ上げるものを感じ、涙を流した。

一年経つて旅費が貯まるといふと、星は「東部への出発
をお許しください」と申し出た。家族は学資なら
援助するから、サンフランシスコのスタンフォード
大学に通つては、と引き留めたが、星はあくまで、
アメリカ第一のコロンビア大学に行きたいと希望を
述べた。

そこで言つたら、と家族は盛大な送別会を開いた。

星を送り出した。星は明治29(1896)年5月、思い出深
いサンフランシスコをあとに、汽車でニューヨークに向かつた。

その前年、母国は日清戦争には勝つたが、ロシ

ア、フランス、ドイツの三国干涉に屈して遼東半島

を返還した。一刻も早く國力を充実させなければな
らない、というのが、國民の一一致した思いだつた。

星は経営に苦しみながら、商店で営業を始めたが、
それが世界に認めて貢献したこととした。星は

日本に帰つて何をするのか、計画もないし、資金

もない。すべてはこれからだ。しかし自信はある。

その自信を与えてくれた國の陸海の陰が水平線の

存在は世界に認められた。星は「ジャパン・アン

ド・アメリカ」の役割は終えたと考えて就職とし、

「最も優秀な日本人になつて帰つてこよう」という

星は、翌年1月、星は「明治・父・アメリカ」

が20歳の時で、今は31歳。あしかけ12年、残つ

た利益もすべて彼に任せ、帰国することとした。

1905(明治38年)サンフランシスコから

帰國の船に乗つた。日本からこの地に辿り着いたの

が、まさに忍耐強い、健康な青年に育てた。これは星は

おまえのお母さんは、おまえのような純真な子を

みました。しかし、どの人も同僚の悪口を言つた

り、不平不満を口にしたりする。それなのに、星は

一度もそんなことを言わず、よく働いてくれる。

おまえの志には、星は「なぜ、そんな事を」と聞く

星に、夫人はこう語つた。

「度もそんなことを言わず、よく働いてくれる。

おまえの志には、星は「なぜ、そんな事を」と聞く

星に、夫人はこう語つた。

